

製剤関連

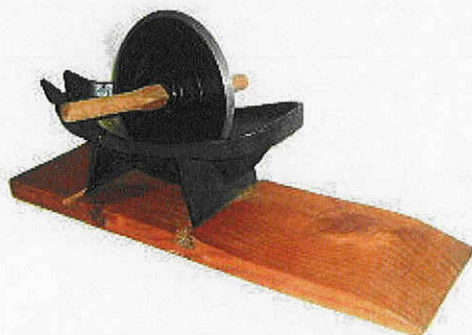
薬研(やげん)・乳鉢

錠剤計算器、カプセル充填器など

薬研(やげん)・乳鉢

漢方製剤の調製などにご利用ください。

薬研(やげん)



【製造元】三栄化工株式会社

製品の購入をご希望の場合には、
下記へお問い合わせください。

【販売元】

和漢薬種問屋

高砂薬業株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目2番9号

TEL 06-6231-5414(代表)

FAX 06-6231-5477

※ 弊社 三栄化工株式会社は国内唯一の薬研の製造メーカーです。

鉄乳鉢

【製造元】三栄化工株式会社



鉄乳鉢

鉄製外径(φmm)

150 180 210 240 300

【販売元】:

和漢薬種問屋

高砂薬業株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目2番9号

TEL 06-6231-5414(代表)

FAX 06-6231-5477

超硬質合金製乳鉢 C型(破碎用)



超硬質合金製乳鉢 C型(破碎用)

区分	乳 鉢				乳 棒			
	Aφ	Bφ	C	D	Eφ	F	Gφ	H
C-1	43	60	40	65	18	22	25	140
C-2	58	80	55	85	22	27	30	160
C-3	80	100	73	110	30	30	32	180
C-4	100	125	93	125	32	36	32	200
C-5	120	146	115	155	34	40	32	225

超硬質合金製乳鉢 P型(搗潰用)



超硬質合金製乳鉢 P型(搗潰(すりつぶし)用)

区分	乳 鉢				乳 棒			
	Aφ	Bφ	C	D	Eφ	F	Gφ	H
P-1	44	70	22	40	17	17	18	130
P-2	52	80	26	50	20	22	20	135
P-3	70	100	35	60	22	25	22	140
P-4	90	125	45	70	24	30	22	150
P-5	106	146	53	80	26	35	22	160

メノ-乳鉢



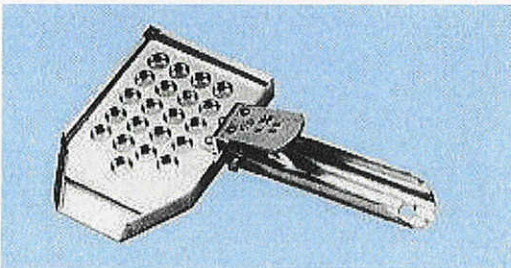
※ 上記写真は標準型のものです

メノ-乳鉢	
標準型(セット) 外径×内径×深さ(mm)	深型(セット) 外径×内径×深さ(mm)
35×32×9	60×50×20
40×35×10	70×60×25
50×43×12	80×65×30
60×50×14	90×75×33
70×55×16	100×80×37
80×65×18	110×90×40
90×75×21	120×100×42
100×82×25	130×108×45
110×90×27	140×120×48
120×100×30	150×125×55
130×110×33	
140×115×35	
150×125×38	

錠剤計算器、カプセル充填器など・・・下記4製品につきましては、現在製造休止中です。

錠剤の計数などにご利用ください。

錠剤計算器



錠剤計算器		
規 格	10~25	錠用
	26~50	錠用
	51~100	錠用

変形錠剤、カプセル用および規格外もできます。

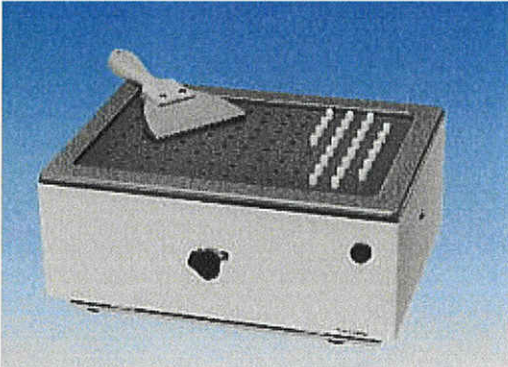
丸薬計算器



丸薬計算器		
規 格	3~10	錠用

	11～20	錠用
	21～50	錠用

カプセル充填器

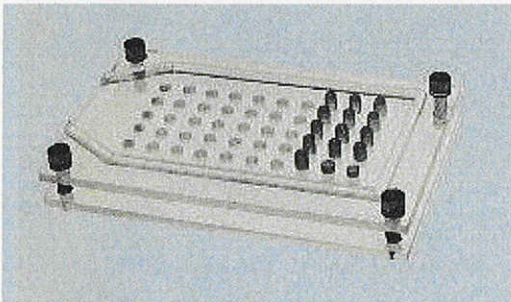


カプセル充填器	
外型寸法	345(W)×230(d)×160(h)mm
消費電力	A.C.100V、50/60Hz、100W
重量	4kg
カプセルホルダー	100個用

本品は、病院薬局製剤、研究開発の生産量の少ない薬剤の製品化に便利です。操作が極めて簡単で特殊な技術を必要としません。調剤台、製剤台上で容易に充填ができます。

主含有量とカプセル番号、カプセル充填数と充填薬の計量を設定し、カプセルホルダーにカプセル本体を差し込み、粉末または顆粒剤をばらまき、ヘラで均等にならしながら押し込み、スイッチONでパイプレーターで充填し、沈んだらヘラで押し込み2～3回同じ操作を繰り返してください。充填できたらハンドルを右に止まるまで回し、カプセル本体がもち上がりますので、キャップをしながら取り出してください。

簡易カプセル充填器



簡易カプセル充填器	
外型寸法	50個用 190(W)×120(d)×45(h)mm
	100個用 230(W)×160(d)×45(h)mm
カプセルNO.をご指定ください NO.0、NO.1、NO.2、NO.3、NO.4、NO.5	

病院薬局調剤で臨時にカプセル充填を行う器具です。

カプセルホルダーにカプセル本体を差し込み、ヘラまたは刷毛で粉末または顆粒剤を入れ2～3回たたき沈んだら入れ、同じ操作を繰り返し、充填できたら四隅のネジをとるまで締め付けますと、本体がもち上がりますので、キャップをしながら取り出してください。